

和文電信入門 2 受信練習編

初めて和文の電波を出す時はとても勇気がいるものです でも練習をしっかりとやっていたら小さい勇気が湧いて来るものですから大丈夫です楽しく練習をしましょう

1 音響受信練習

実際の交信を受信して練習するのが最良の方法ですが 最初は**殆ど聞き取れない**のが現状で **多くの局はこの時点で挫折される**様ですから CD PC スマホ 等を利用した**身の丈に合った受信練習**がお勧めです

仕事では無いので誰からも強制されませんが ある程度定期的に 出来れば**数分**でも**毎日練習**する事が大事です でも一寸でも嫌に成ったらその日の練習は切り上げましょう **楽しく無いと身に付きません**からね

貴局はもう アイウエオ や 数字と一部記号を覚えたのですから PC のソフトを使って 和文電信の第一関門 ご挨拶の聞き取り練習をしましょう

morse を利用する場合 特殊符号表を開くと モールス符号 キーボード 対応表が表示されますので 利用して下さい

但し **ラタ** (終了符号 兼 訂正符号) は **%** を使用する

交信の内容は日常会話ですが 定型文的文言から始まります

鈴木さん お早う御座います 今日は 今晚は 信号は 599で 宇治市に 来ています 599有難う御座います 今日は 暖かいですね 熱いですね 寒いですね ご無沙汰しています お久しぶりですね お元気そうで何よりです 私は 宇治市の 名前は 畑です これからも宜しくお願いします 和文は まだまだ新米です

初めの内はメモをとりましょう 慣れて来ると自然に暗記受信に成ります

2 テキストを使って受信練習

私は 和文の聞き取り練習で 暗文（文章では無いランダム）の練習をお勧めしていません 和文は 通常の会話をそのまま符号に変えて楽しむ交信ですから 符号を覚えたら 単語やフレーズでの聞き取り練習が実際の交信でとても役に立ちますし 一文字二文字聞き漏らしても前後の内容から想像受信が出来る様に成りますので 文字では無く 単語やフレーズで覚える事の方が練習も楽しく成ります

和文の交信では最初に ホレ (和文の本文符号)が入ります 文章の終わりで 相手局に返す前には ラタ (終了&訂正符号) を入れますので テキストにも入れています 次頁**赤文字**テキストをコピーして `morse` のテキスト欄に張り付けて聞きましょう

^ ス ズ キ サ ン オ ハ ヨ ウ ゴ ザ イ マ ス コ ン ニ チ ハ コ ン
 バ ン ハ シ ン ゴ ウ ハ 5 9 9 デ ウ ジ シ ニ キ テ イ マ ス
 5 9 9 ア リ ガ ト ウ ゴ ザ イ マ ス キ ヨ ウ ハ ア タ タ カ イ デ ス
 ネ ア ツ イ デ ス ネ サ ム イ デ ス ネ ゴ ブ サ タ シ テ イ マ ス
 オ ヒ サ シ ブ リ デ ス ネ オ ゲ ン キ ソ ウ デ ナ ニ ヨ リ デ ス ワ
 タ シ ハ ウ ジ シ ノ ナ マ エ ハ ハ タ デ ス コ レ カ ラ モ ヨ
 ロ シ ク オ ネ ガ イ シ マ ス ワ ブ ン ハ マ ダ マ ダ シ ン マ イ
 デ ス %

練習を続けていると 単語や フレーズで覚える様に成りますが これが後々の交信にとっても有効に成ります

単語やフレーズをリズムで覚えると 交信の最初の頃に シン と聞こえたら**信号**だと判断出来る様に成りますので レポートを聞く態勢に入れます

慣れて来ると 一文字一文字聞き取らなくても単語やフレーズで聞き取れる様に成りますし おは#&%ざいます は お早う御座いますと聞こえて来るものですから 日本語で会話をする和文が 略符号 Q 符号を駆使する欧文よりも楽に成ると同時に 欧文では伝えられなかった歯がゆさが無く成り 楽しい交信が出来ます

テキストを利用して聞いていれば 正確な和文符号が身に付いてきますので NET 等で例文を見つけたり 自分で作成して 出来るだけ沢山聞く様にしましょう

3 桃太郎で 聞き取り練習

和文で交信をしていると 幾つか符号を聞き取れない事が有りますが それでも話の内容を理解出来る様に成ります **それが 想像受信です** 欧文の 略符号や Q 符号の単語の意味を理解しながらの交信では無く 和文は 日常会話を符号に変換している

ですから 前後の言葉から内容を理解出来ますし 言葉の先読みも出来る様に成ります 子供の頃から知っているおとぎ話で聞き取り練習をするとそれを体感出来ますよ

(下記赤文字を morse に張り付けて聞きましょう)

「むかし むかし あるところに おじいさんと おばあさんが すんでいました」
 おじいさんは やまへしばかりに おばあさんは かわへせんたくにいきました」
 おばあさんが かわで せんたくをしていると どんぶらこ どんぶらこ おおきなももが ながれてきました」 おばあさんは おおきなももを ひろいあげて いえに もちかえりました」 そして おじいさんと おばあさんが ももをたべようと ももをきつてみると なんとなかから げんきのよい おとこのあかちやんが とびだしてきました」 これはきつと かみさまが くださつたにちがいない こどものいなかつた おじいさんと おばあさんは おおよろこびです」 ももからうまれたおとこのこを おじいさんと おばあさんは ももたろうと なづけました」 ももたろうは すくすくそだつて やがて つよいおとこのこになりました」 そしてあるひ ももたろうがいました」 ぼく おにがしまへいつて わるいおにを たいじします おばあさんに きびだんごをつくつてもらおうと おにがしまへ でかけました」 たびのとちゆうで いぬにであいました ももたろうさん どこへいくのですか おにがしまへ おにたいじに行くんだ それでは おこしにつけた きびだんごを ひとつくださいな おともしますよ そのあと さるや きじも おともにひきつれて おにがしまに むかいました」 %